

「えんげき」をとおして？ (学校支援本部「えんげきワークショップ」・富士見丘小)



カードに書かれた動作を表現することから始まります。
カードは徐々に増えていきます。



カードからストーリーを考えます。与えられたカードから場面を想像して...



講師の先生から与えられるのは“ヒント”のみ。繰り返し表現を工夫しながら、ストーリーを固めていきます。



グループに一人、講師がつきます。児童主体で進めつつも、適宜アドバイスしたり考えを整理したりします。

グループ発表。演じる方はもちろん、観る方も真剣です。



5年生のえんげきワークショップの様子です。担当する学校地域コーディネーターの方の主な仕事は依頼する団体との連絡・調整、提出書類の作成、当日の講師対応などなど多岐にわたります。現在は2人体制で取り組んでいるそうです。「演劇が好きだから。」と笑う姿から、御自身も一緒になって、この取組を楽しんでいることが伝わってきました。

1年生からずっと取り組んできた5年生は、自分の思いを体全体を使って表現していて、グループ発表はどのグループもととても見応えがありました。

【学校地域コーディネーターの方のお話】

演劇を手法として、よい案をシェアすることや自分の思いが相手にどう伝わるかを考えるなど、日常のコミュニケーションを学んでいる。

そのために、このワークショップは児童が安心して活動できる空間である必要があるし、その中で、協力すると面白いことができる、話し合いがよりよい結果につながることを楽しみながら実感してほしい。



担任と講師陣との振り返り。後日、コーディネーターのもとに記録が届き、全員で共有するそうです。



全グループの発表を観て、感想の共有をしました。みんな自分の考えを積極的に交流し合っていました。